

さらなる飛躍誓う
総合資格学院札幌校
23年度合格祝賀会開く
総合資格学院札幌校（佐熊孝浩学長）は8日、札幌市中央区のアパホテル札幌で2023年度合格祝賀会を開いた。1級・2級建築士などの資格試験



に合格した同校の受講者が、担当講師やスタッフとともに合格の喜びを分かち合った。本年度は、道内で1級建築士に合格した76人のうち、半数の38人を同校の受講者が占めた。祝賀会には1級・2級建築士をはじめ、1級建築施工管理技士、宅地建物取引主任者の資格試験に合格した35人が参加した。

冒頭、真田亮史北海道東北本部部長は「合格まで道のりは本当に大変だったと思うが、合格は皆さんの一年を通じた学習、試験の前日まで頑張った粘り強い努力の結果だと思う」と受講生の努力をたたえながら「皆さんの努力はこれから大きな自信となり、これからの人生でも大きな困難に立ち向かう原動力になると思う。資格者としてのこれからの活躍に期待している」とエールを送った。

引き続き、合格者を代表して2人があいさつ。2級建築士合格者の井上広大さんは「今回の合格は夢への第1歩。1級建築士になり自分の事務所を持つという小学生からの夢に向かい、さまざまな資格取得に挑戦していきたい」と決意を表明。1級建築士合格者の小杉行男さんは「1級建築士の責任や重圧は大きいですが、有資格者としての使命を果たせるようにこれからも精進していきたい」とさらなる飛躍を誓った。



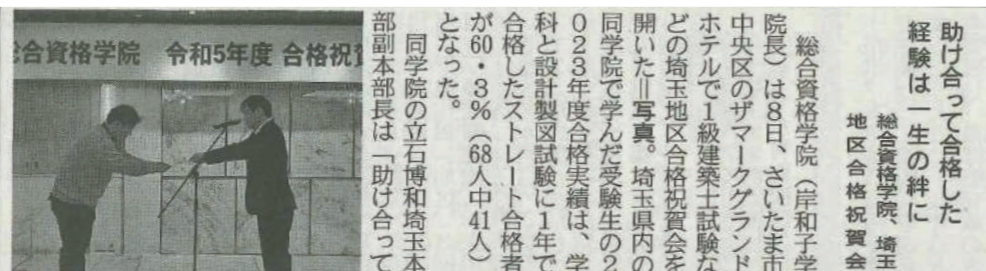
格の喜びを分かち合った。同学院の本年度の合格者占有率（全国）は1級建築士のストレート（学科と設計製図試験を1年で合格）が51・8%、直近10年間の設計製図試験合格者が54・8%だった。

冒頭、山本聡千葉本部部長は「この激変の時代に最新の技術や知識を得て国産資格者となった皆さんのこれからの活躍に大変期待している」と述べた。講師の依田充氏が祝辞を述べた後、各校の受講生代表者に修了証を授与した。

来賓の蒲生良隆千葉県建築士会副会長、福田幸則千葉県建築士事務所協会副会長、森田敬介日本建築家協会（JIA）関東甲信越支部千葉地域代表、池田裕日本建築構造技術者協会（JSSCA）千葉副代表、梶原等千葉県設備設計事務所協会会長がお祝いの言葉を送った。

開会に当たり主催者を代表して森山衛南関東本部副部長は「資格試験合格はゴールではない。これから有資格者として新しい視点で日々の業務に取り組みでほしい」と合格者の今後の活躍に期待を寄せた。

修了証授与式では合格者代表が登壇し、喜びを語るとともに将来に向けた抱負を述べた。来賓として神奈川県建築士会の上原伸一会長、神奈川県建築士事務所協会の小松正道副会長、日本建築家協会（JIA）関東甲信越支部神奈川地域会の柳沢潤代表が参加し、合格者にお祝いの言葉を述べた。



総合資格学院（岸和子学院長）は8日、さいたま市中央区のザマークランドホテルで1級建築士試験などの埼玉地区合格祝賀会を開いた。写真。埼玉県内の同学院で学んだ受講生の2023年度合格実績は、学科と設計製図試験に1年で合格したストレート合格者が60・3%（68人中41人）となった。

同学院の立石博和埼玉本部副部長は「助け合って助け合って合格した経験は一生の絆になる。より交流を深めてほしい」と合格者にエールを送った。続いて来賓の江口満志埼玉建築士会会長、神田廣行埼玉建築設計監理協会会長らがあいさつした。

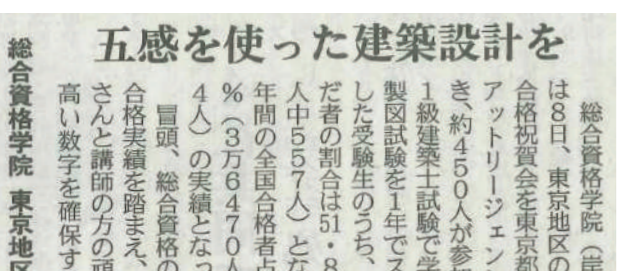
1級建築士に合格した小山慎吾さん（こーき工房）は「対面による緊張感ある講義を受けられた。顧客に知識を分かりやすく説明できるような建築士になりたい」と、2級建築士合格の黒田祐一郎さん（クログ）は「分からない点を丁寧に補足してくれるのが助かった」と話した。

総合資格学院（岸和子学院長）の千葉県内3校（千葉、船橋、柏）は8日、2023年度の1、2級建築士などの修了式と合格祝賀会を千葉県船橋市内で開いた。写真。会場には受講生や講師、来賓が参加し、合格者の活躍に期待を寄せた。

総合資格学院（岸和子学院長）は8日、横浜市西区のパシフィコ横浜で神奈川エリア（横浜、川崎、藤沢、厚木、町田）5校の合格祝賀会を開いた。写真。当日は約1,000名が参加し、合格者の活躍を支えていると述べた。

特別顧問で建築家の伊東豊雄氏は建築設計という仕事に関して、常識を疑うことや対話しながら考えることの重要性を話した。加えて「体全体で建築を考えること」ではなく、五感を使って考えること。大人になるほど頭でしか考えなくなってしまう。いつまでも（五感で考えることを）大切にしてほしい」と話した。

児玉耕二日本建築士事務所協会連合会会長と千島義典東京都建築士事務所協会会長が祝辞を述べ、古谷誠章東京建築士会会長がビデオメッセージを寄せた。修了証授与式では、1、2級建築士それぞれの合格者代表に賞状が手渡された。



総合資格学院（岸和子学院長）は8日、東京地区の2023年度合格祝賀会を東京都新宿区のハイアットリージェンシー東京で開き、約450人が参加した。写真。1級建築士試験で学科試験と設計製図試験を1年でストレート合格した受講生のうち、同学院で学んだ者の割合は51・8%（1,075人中557人）となった。直近10年間の全国合格者占有率も54・8%（3万6,470人中1万9,984人）の実績となった。

冒頭、総合資格の武林輝専務は合格実績を踏まえ、「受講者の皆さんと講師の方の頑張りによって高い数字を確保することができ

た。常日ごろ総合資格を支えていると述べており、改めてお礼申し上げます」と述べた。

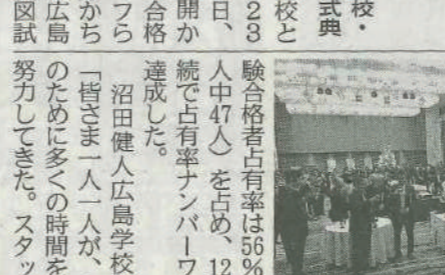
総合資格学院（岸和子学院長）は8日、仙台市青葉区のホテルモントレ仙台で2023年度合格祝賀会を開いた。写真。約100人が参加し、受講生や講師の活躍を支えていると述べた。



総合資格学院（岸和子学院長）は8日、仙台市中央区のANAクラウンプラザホテルで開かれた。写真。当日は約100人が参加し、合格者の活躍を支えていると述べた。

総合資格学院（岸和子学院長）は8日、仙台市中央区のANAクラウンプラザホテルで開かれた。写真。当日は約100人が参加し、合格者の活躍を支えていると述べた。

県内合格者占有率
12年連続トップ
総合資格学院広島校・福山校が合格祝賀式典
総合資格学院の広島校と福山校合同による2023年度合格祝賀式典が8日、広島市内のホテルで開かれ、1級・2級建築士合格者や来賓、学院スタッフが出席し、喜びを分かち合った。写真。同校の広島県の1級建築士設計製図試験



総合資格学院（岸和子学院長）は8日、広島県福山市のANAクラウンプラザホテルで開かれた。写真。当日は約100人が参加し、合格者の活躍を支えていると述べた。

総合資格学院（岸和子学院長）は8日、広島県福山市のANAクラウンプラザホテルで開かれた。写真。当日は約100人が参加し、合格者の活躍を支えていると述べた。

日本を支える資格者に
総合資格学院天神校・小倉校が合格祝賀会
総合資格学院（岸和子学院長）の天神校と小倉校は8日、福岡市中央区のソラリア西鉄ホテル福岡で2023年度の修了式・合格祝賀会を開いた。1級建築士と2級建築士、宅地建物取引士などの試験に合格した学院生や講師、来賓ら150人が出席し、難関突破の喜びを分かち合った。写真。冒頭、天神校の梶原賢大校長は「これまで



での努力、大変だった思いをねぎらう場には、建設士が活躍している。建築士の仕事に自信と誇りを持って進んでほしい」と2級建築士合格の木崎裕也さんは「1級建築士を目指し、もう1年頑張りたい」と決意を述べた。同日は、九州・沖縄エリアにあるほかの7校でも祝賀会を同時開催。23年度のストレート合格者（同年設計製図試験と設計製図試験に合格）74人のうち、同学院で学んだ受講生の合格者は38人、占有率は51・4%に上った。

同、この瞬間に立ち会ったことが大変うれしく思う。総合資格学院は、今後も皆様のことを第一に考え、今以上に尽力していく」とあいさつした。引き続き佐名田敬広島県建築士会副会長が「今後のさらなる活躍に期待している」とエールを送った。これを受け、合格者を代表して高貴志氏が「これも学院スタッフの皆さまの丁寧な指導と叱咤（しつた）激励のおかげ。この感動を忘れることなく、今後も自己研さんに努めていく」と力強く心えた。

第一線で活躍を

総合資格学院高松校ら 23年度合格祝賀会



総合資格学院高松校は8日、高松市のホテルパールガーデンで2023年度合格祝賀会を開き、1級・2級建築士の試験合格者ら約30人が合格の喜びを分かち合った。写真。

山本勲生学校長は「目標に向かって努力できることは最大の才能。数々の困難を乗り越えてきたことに自信を持ってほしい。実務者として第一線で活躍し、この国を造ってほしい」と期待を込め、合格者の代表に修了証書を授与した。

四国地区では同日、松山、徳島両校でも合格祝賀会が行われ、合格者らと共に祝った。同地区の1級建築士のストレート合格者占有率は66・7%（21人中14人）で好成績を挙げた。

資格者の責任持ち活躍を

総合資格学院、東海3県各校が合格祝賀会

総合資格学院（岸和子学院長）は8日、愛知、岐阜、三重の各県で2023年度合格祝賀会を開いた。1、2級建築士試験を突破した



資格者の責任持ち活躍を期待しているが、活躍の場も大きく開けている。梅上雅博大阪府建築士事務所所長は「私たちがクリエーティブな建物を世に送り出している。皆さんの力を借り、仕事に反映させ、社会に貢献してほしい」と、松尾和生日本建築家協会（JIA）近畿支部長は



「地震の揺れを感じ、瞬時に私の頭は建築の専門家の状態になった。建築のデザインをしようと考え資格を取った人も多いと思うが、やはり建築は安全が第一だ」と述べた。西村泰志常務理事と岩前篤近畿大学副学長も来賓あいさつを述べ、合格者の活躍に対する期待を表明した。



学院への謝意を示し、「資格に恥じないよう業務に当たるよう決意を述べた。兵庫県内の神戸、姫路、西宮北口校の合格祝賀会は、神戸市中央区の神戸三宮東急REIホテルで開かれ約60人が参加した。神戸校、西宮北口校の水本英輝学校長は「大変な思いで勝ち取った合格は今後の人生の大きな財産になる。有資格者として責任を持って職務を全うしてほしい」と激励の言葉を贈った。

（上から）愛知会場、岐阜会場、三重会場

し、名古屋校など同県内の合格受講生のほか、愛知建築士会の石井隆司副会長、愛知県建築士事務所協会の富成篤也副会長、日本建築家協会東海支部愛知地域会の高木耕一副地域会長をはじめとする来賓ら約200人が出席した。

同学院の竹谷繁中部本部長は、1日に発生した能登半島地震で多くの人が亡くなったことにお悔やみと、被災された人々にお見舞いを述べた。続いて「東海3県（愛知、岐阜、三重）の合格者は275人、うち当学院の受講生が144人、

大学院の竹谷繁中部本部長は、1日に発生した能登半島地震で多くの人が亡くなったことにお悔やみと、被災された人々にお見舞いを述べた。続いて「東海3県（愛知、岐阜、三重）の合格者は275人、うち当学院の受講生が144人、

合格占有率が52・4%と半数を超えることができた。学科・設計製図試験のストレート合格は3県で84人中44人、同じく52・4%という合格占有率を達成した」と本年度の試験結果を報告した上で、「有資格者が果たす役割、責任は非常に重い。能登半島地震における復興で活躍することを期待している」とあいさつした。

1級建築士試験に合格した土本拓実さんは「現場を管理する職に就いた。建築に携わる者として最上級の1級建築士にストレートで合格し、自分自身の成長につなげたいとの思いから受験した。今後は1級建築士だけでは満足せず、1級施工管理技士などの資格にチャレンジしていきたい」と合格受講生を代表して答辞を述べた。

岐阜校は岐阜市のホテルリソル岐阜で開いた。岐阜校は1級建築士設計製図試験の県内の合格者占有率は65・9%で13年連続トップを堅持。学科と設計製図のストレート合格者占有率は64・3%、設計製図（過年度学科合格）の合格者占有率も66・7%とトップだった。

資格生かし社会貢献を

総合資格学院 関西地区 23年度合格祝賀式典

総合資格学院は8日、関西地区でも2023年度合格祝賀式典を開いた。メイ、能登半島地震で多くの方が被災し、犠牲になった。建築士会会長は「周囲の支援と皆さんの献身的な勉強の成果が合格という結果に繋がった。現場や市民に寄り添う活動は私たちが担う。資格を存分に生かして活躍してほしい」と、私たち建築士には、試験も



大阪会場



兵庫会場



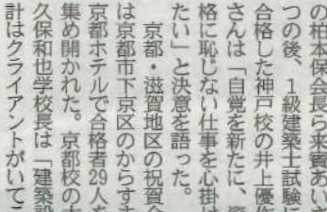
京都会場（京都・滋賀地区）



奈良会場



和歌山会場



（下3枚は総合資格学院提供）

「地震の揺れを感じ、瞬時に私の頭は建築の専門家の状態になった。建築のデザインをしようと考え資格を取った人も多いと思うが、やはり建築は安全が第一だ」と述べた。西村泰志常務理事と岩前篤近畿大学副学長も来賓あいさつを述べ、合格者の活躍に対する期待を表明した。

待ち受けているが、活躍の場も大きく開けている。梅上雅博大阪府建築士事務所所長は「私たちがクリエーティブな建物を世に送り出している。皆さんの力を借り、仕事に反映させ、社会に貢献してほしい」と、松尾和生日本建築家協会（JIA）近畿支部長は

「地震の揺れを感じ、瞬時に私の頭は建築の専門家の状態になった。建築のデザインをしようと考え資格を取った人も多いと思うが、やはり建築は安全が第一だ」と述べた。西村泰志常務理事と岩前篤近畿大学副学長も来賓あいさつを述べ、合格者の活躍に対する期待を表明した。

学院への謝意を示し、「資格に恥じないよう業務に当たるよう決意を述べた。兵庫県内の神戸、姫路、西宮北口校の合格祝賀会は、神戸市中央区の神戸三宮東急REIホテルで開かれ約60人が参加した。神戸校、西宮北口校の水本英輝学校長は「大変な思いで勝ち取った合格は今後の人生の大きな財産になる。有資格者として責任を持って職務を全うしてほしい」と激励の言葉を贈った。

市のホテルアジュール・奈良で10人が参加し開かれた。奈良校の谷口寛次学校長は「厳しい競争を勝ち抜いた自分自身を褒めてほしい。この経験は大きな自信となり今後の人生に役立つだろう」と述べた。来賓の米村博昭奈良県建築士会会長らが来賓あいさつを述べた。

和歌山地区の祝賀会は和歌山市の和歌山アーバンホテルで12人を集め開催。津嘉山英浩学校長が「合格者の一人一人に総合資格で受講した経緯や合格までの歴史がある。経験をぜひ後輩に伝えてほしい」とあいさつ。来賓の角泰宏和歌山県建築構造設計事務所協会会長が合格者を祝福した。

三重県の津校と四日市校は、津市のホテルグリーンパーク津で開いた。広田淳二支店長兼両学校長は「資格者としての責任を持ち活躍することを期待している」とあいさつ。伊藤公智三重県建築士会会長は「過去に比べ試験は難しくなっている。受講生はもう一人、講師の皆さんも勉強されているのだからと思う」とねぎらった。相原清安三重県建築士事務所協会会長は「友達をつくり、横のつながりを大切にして資格を生かしてほしい」とアドバイスした。